作州ワイド版（みまさか・まにわ）

西日本豪雨1カ月

土砂崩れ 深い爪痕

県内各地に甚大な被害をもたらした西日本豪雨から6日で1カ月がたった。作州地域では土砂崩れの爪痕が消えない現場で復旧作業が進む。いまだ不通となっているJR姫新線の中国勝山―久世間は、あらわになった山肌の下で、市民の足を取り戻そうと、開通に向けた懸命の作業が続けられている。（斎藤章一朗）

西日本豪雨で崩れた土砂を取り除く工事現場＝5日午前11時21分、真庭市のJR姫新線中国勝山―久世間（撮影・池上勝哉）

真庭・JR姫新線　懸命の復旧作業

旭川の流れに沿って走る国道181号と姫新線。山の緑が大規模にわたって崩れ落ちていた。土砂が道路側に落ちないように、土のうが幾つも積まれている。レールは一部が見えるだけ。周辺に重機が何台も入り、土砂の撤去が続く。

豪雨の影響で寸断されたJR西日本岡山支社管内の各路線。5日に津山線が全線開通し、姫新線も津山―上月間で10日に運転再開の見通しだ。さらに津山―中国勝山間で8月下旬、中国勝山―新見間は9月中の運行を目指す。因美線も津山―美作加茂間が9月上旬、美作加茂―智頭間で9月中、芸備線の新見―東城間でも9月上旬からの運転目標を立てている。

美作ボーイズ準優勝　市長杯中学硬式野球

中学生の硬式野球チームが争う「第12回美作市長杯美作ボーイズ大会」（美作ボーイズ主催）は4日、邑久球場（瀬戸内市）で準決勝と決勝が行われ、美作ボーイズが準優勝に輝いた。

準優勝した美作ボーイズの選手たち

大会は7月28日に美作市などで開幕し、7府県16チームがトーナメントを展開。ベスト4に進出した美作ボーイズは準決勝で姫路ボーイズ（兵庫県）と対戦し、0―0の緊迫した試合展開の中、最終回の七回に1点を奪い、サヨナラ勝ちした。岡山北ボーイズを8―0で下した川之江ボーイズ（愛媛県）との決勝戦では、チャンスをつくったものの、得点できず0―3で敗れた。

選手たちは暑さの中、華麗な守備や巧みなバットコントロールを披露するなど白熱した試合を展開。駆け付けた保護者の声援に応えていた。（大橋孝平）

親子で学ぶてんまや水族館

スマスイ 旅するアクアリウム

岡山市北区表町の天満屋岡山店6階葦川会館で26日まで、親子で学ぶてんまや水族館「スマスイ　旅するアクアリウム」（山陽放送、山陽新聞社主催）が開かれている。展示をプロデュースする神戸市立須磨海浜水族園で魚類飼育課長を務める岩村文雄さんに、注目の生き物の生態を紹介してもらう。初回はアカウミガメ。

①アカウミガメ

日本は貴重な産卵場所

関東以南の砂浜で5～8月に産卵するウミガメ。北太平洋では日本でしか産卵しないので、日本の砂浜がなくなれば、北太平洋から本種はいなくなると考えられている。

動物食で海底の貝やヤドカリ、水中を漂うホヤの仲間などを食べる。そのため熱帯より栄養の多い温帯に生息する。当園の個体は定置網に入って保護されたり、砂浜で孵化した子ガメが成長したりしたものである。

環境省の絶滅危惧IB類。子ガメはメキシコ沖まで泳いでいって成長するため、日本、アメリカ、メキシコが共同して保護を行っている。

分布域　インド洋、太平洋、大西洋、地中海の温帯～熱帯

アカウミガメ。北太平洋では日本でしか産卵しない

親子で学ぶてんまや水族館「スマスイ　旅するアクアリウム」は午前10時～午後6時（最終日は同5時まで）。入場料は中学生以上800円、3歳～小学生600円。

生活関連情報

ボランティア

【倉敷市】真備町地区を対象に、市社会福祉協議会が中国職業能力開発大学校（玉島長尾）の市災害ボランティアセンター（086―526―4970）で午前9時～10時に受け付ける。被災者からの派遣要望は午前9時～午後4時、専用電話（086―526―4960）で受け付ける。

【総社市】市社会福祉協議会が市総合福祉センター（中央）の市災害ボランティアセンターで県内在住者を対象に募集。午前9時から随時受け付け（080―2889―5042）、活動時間は午後5時まで。ボランティアの派遣要請（080―2889―5342）は午前9時～午後4時に受け付ける。

倉敷市真備町地区への派遣も12日まで募集。総社市役所（中央）玄関前に集合し、午前9時半にバスで出発、午後2時まで活動する。前日午前9時～午後4時に専用ダイヤル（080―2889―5142）に申し込むのが望ましい。

【岡山市】市社会福祉協議会が上道公民館（東区竹原、受け入れ＝080―2931―9842など、派遣要請＝080―3348―3072など）の東区災害ボランティアセンターで午前9時～午後4時に対応。市内の被災者からの支援要望と市内外からのボランティア希望を受け付け、活動場所を調整する。

【笠岡市】ボランティアグループ「ぞうきんプロジェクト@笠岡」が北川公民館（走出）に民間のボランティアセンターを立ち上げている。活動は金～日曜。問い合わせは事務局（080―8984―1262）。

【矢掛町】町農村環境改善センター（矢掛）で午前9時から受け付けている。県内在住者が対象。13～15日は活動休止。専用電話は080―2931―8642など。ボランティアの派遣要望は町社会福祉協議会（086―682―0848）。

通行止め

【主な主要地方道の全面通行止め＝6日午後2時現在】県道湯原奥津線（真庭市社～鏡野町富西）県道湯原奥津線（鏡野町富西谷）県道倉敷笠岡線（笠岡市今立）県道新見多里線（新見市神郷釜村～同市千屋）県道玉野福田線（玉野市滝）県道総社三和線（総社市槇谷）県道北房川上線（真庭市阿口～新見市豊永赤馬）県道加茂奥津線（鏡野町越畑）県道北房井倉哲西線（新見市哲多町荻尾）県道鏡野久世線（真庭市樫西）県道落合建部線（岡山市北区建部町鶴田）県道津山加茂線（津山市上横野～同市加茂町

久米南町学校給食センター　増改築工事が完成

完成した久米南町学校給食センター（手前）

久米南町が行っていた町学校給食センター（同町下弓削）の増改築工事が完成した。オール電化で、食物アレルギー対応の調理室などを新設したもので2学期から稼働する。

久米南中学校の敷地内にある給食センター（鉄骨2階、延べ約740平方㍍）の老朽化に伴い、北隣に鉄骨平屋（約595平方㍍）を新たに建設した。

一部、外部に委託していた炊飯設備も増強し、同中のほか町内3小学校の給食の調理（1日当たり最大400食）が可能となる。総事業費は、備品購入費を含め2億9488万円。

2学期の給食がスタートする27日から稼働する。現センター2階は同中のランチルームとして使用し、1階の調理場部分の活用法は検討中という。

片山篤町長は「新施設稼働を契機にさらに地産地消を進め、子どもたちの食への関心が高まることを期待したい」と話していた。（池葉須則夫）

国際交流員に豪州出身男性

奈義町が辞令

奈義町は、デイビス・ジェイク・アレキサンダーさん(26)＝豪州出身＝を町嘱託職員の国際交流員として採用し、1日に辞令を交付した。情報財政課で奈義と母国との民間交流促進に努める。

辞令書を受け取るデイビスさん（右）

町役場で交付式があり、笠木義孝町長が「子どもたちに生の英語が

ご存知ですか？ちゅうぎんカードローン

0120-608-997（ローンは クイックな）
受付時間／平日9時～20時　土・日・祝日・休日9時～17時
※1月1日～3日、5月3日～5日、12月31日を除きます。
※お電話でお申込みの場合は、当行キャッシュカードをお持ちの方に限ります。
※キャッシュカード・運転免許証をご準備のうえ、お電話ください。
ご融資金額　10万円～500万円
ちゅうぎんカードローン　検索
◎ご利用は計画的に